



登り藤

令和8年10月7日(水) 発行
令和8年度 第7号
江戸川区立南葛西第二中学校

読書の秋～SNSと本の違い～

校長 江 熊 秀 昭

何か分からないことがあったとき、どうやって調べますか？

スマートフォンでSNSを見たり、インターネットで検索したりする人が多いと思います。SNSは、とても便利です。今、何が起きているのかを、すぐに知ることができます。たとえば、大きな地震が起きたときには、その場所にいる人が写真や動画を投稿することで、ニュースより早く様子を知ることができる場合もあります。

しかし、SNSには注意しなければならないことがあります。SNSでは、誰でも情報を発信することができるため、正しい情報だけでなく、間違った情報や噂、悪意のある情報も広がります。

では、本や新聞はどうでしょうか。新聞記事は、綿密な取材や各種の情報確認、複数の人による見直しの上で、書かれています。本も、一つのテーマについて詳しく調べ、内容を整理して作られています。もちろん、本や新聞だから絶対に間違いがない、というわけではありません。しかし、SNSの短い投稿を見るだけでは分からないことを詳しく知ることができます。

大切にしてほしいのが、**読書**です。SNSは、次から次へと新しい情報が出てきます。短い文章や動画を、どんどん見ることができます。それに対して、本を読むことは、一つの話や一つのテーマについて、じっくり考える習慣が身に付きます。また、語彙が増える、様々な人の考え方を知ることでもあります。

そして、「自分だったらどうするだろう」「なぜこの人はこう考えたのだろう」と、自分で考える力も身についていきます。

本を読むことは、自分の頭の中に、たくさんの『考える材料』を増やすことです。例えば、スポーツ選手の本を読むことで、その人が努力の過程や思考力を知ることができます。歴史の本を読めば、昔の人々が生活様式やどんなことを考えていたのかを知ることができます。小説を読めば、自分とは違う人生を生きている人の気持ちを想像することができます。

つまり、本を読むことで、**自分一人では経験できないことを、本を通して経験できる**のです。

SNSは、情報を「早く知る」ために便利です。新聞は、世の中で起きていることを「整理して知る」ために役立ちます。そして本は、いろいろなことを「深く知り、自分で考える」ために役立ちます。だから、SNSをやめなさい、ということではありません。

大切なのは、**一つの情報だけを信じるのではなく、いろいろな方法で確かめること**。そして、**本を読む時間を大切**にすることです。

これからみなさんは、たくさんの情報に出会っていきます。その際に、「これって本当かな？」「ほかの考え方はないかな？」と、自分の頭で考えられる人になってほしい。そのための力を育ててくれるものの一つが、**読書**です。

ぜひ、スマートフォンを置いて、本を開く時間を少しでも作ってみてください。一冊の本との出会いが、みなさんの考え方や人生を変えることもあります。

本を読むことは、未来の自分をつくることです。

合唱コンクール 10月24日(土) 9時30分

今年度スローガン 『響かせ、心を1つに最上級のフィナーレを』

※本校ホームページも随時更新しています。ぜひ本校生徒の活躍の様子をご覧ください。➡

